

アルツハイマー病におけるアミロイド関連画像異常（ARIA）の リスクファクターに関するレジストリ研究

代表機関/代表者：三重大学 新堂晃大
研究期間：2025年度～2027年度

研究開発目的

アルツハイマー病（AD）の疾患修飾薬である抗アミロイドβ（Aβ）抗体薬に伴う副作用「アミロイド関連画像異常（ARIA）」の発症メカニズムを明らかにし、より安全な治療実現に資する基盤データを整備する。ARIAはAPOE ε4保因者で特に頻度が高く、MRIでFLAIR画像の血管性浮腫やSWIにおいて微小出血など出血性変化を伴う重篤な副作用であり、脳アミロイド血管症（CAA）も発症に関連する。さらにCAAに由来する自然発症ARIA（CAA関連炎症）と解析を行い、ARIAのレジストリを構築する。

取り組み

全国の研究協力機関と連携し、自然発症型のCAA関連炎症（CAA-ri）および抗Aβ抗体薬投与によるARIA発症症例の双方を対象としたレジストリを構築し、血液検体とMRI画像の収集を行う。

成果

レジストリの構築と血液検体、MRI画像の検討を行うための体制を整えている。

今後の展開

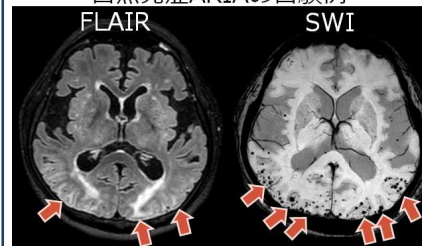
ARIAのバイオマーカー、および予測モデル構築を行い抗Aβ抗体薬投与の際のスクリーニングやモニタリングに活用する。

アミロイド関連画像異常ARIA

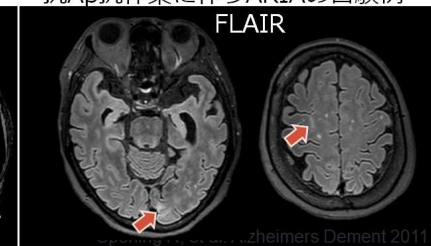
アミロイドβ（Aβ）が関与して起こるMRI所見

1. 自然発症ARIA 脳アミロイド血管症に関連した炎症
2. 薬剤性ARIA 抗アミロイドβ抗体薬の投与に伴う

自然発症ARIAの自験例



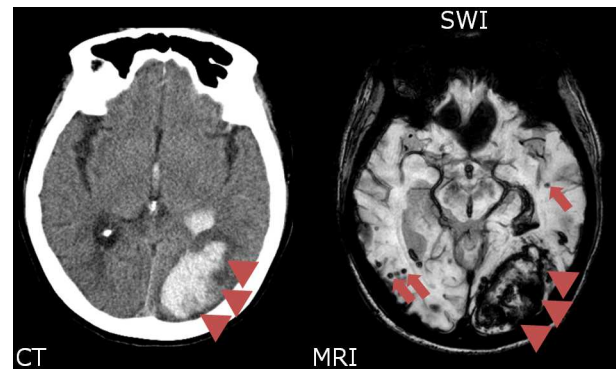
抗Aβ抗体薬に伴うARIAの自験例



自然発症ARIAと薬剤性ARIAのレジストリ構築

脳アミロイド血管症の脳出血とARIA

脳アミロイド血管症では、脳葉型脳出血を来す(▲)。MRIのSWI画像では微小出血を多数認めている(➡)。



自験例